

オプション名		検査の説明	料金(税込)
脳・心臓	頭部MRI・MRA	磁石と電磁波を用い放射線被曝なく脳の状態を詳しく調べることができるため、将来の脳卒中予防の目的で脳ドックの主要検査項目の一つとなっています。また造影剤(薬剤)を用いずに脳の動脈を立体的に観察できるため、くも膜下出血の原因となる未破裂動脈瘤の有無についても調べることができます。	24,200
	頸動脈エコー	頸動脈にエコーをあて動脈壁の厚さを測定し、全身の動脈硬化の程度を判定する検査です。また頸動脈が狭くなっていないかについても調べることができます。	4,730
	脳検査セット 頭部MRI・MRA + 頸動脈エコー	MRIによる脳や脳動脈の状態チェックとエコーによる動脈硬化のチェックを合わせたセットです。40歳以上、飲酒や喫煙量が多い、血縁者に脳卒中になった方がいる、肥満や生活習慣病がある方などにおすすめです。	26,950
	AI認知機能検査 (BrainSuite) ※1	AIを使用した認知機能検査です。脳画像検査 (MRI) 及び認知機能スクリーニング検査を行い、現在の脳機能を評価することで、生活習慣を見直し、脳萎縮を抑え認知症等の疾患を予防・脳健康を維持することにつながります。	11,220
	AI認知機能検査セット (『頭部MRI・MRA』 + 『BrainSuite』)	MRIによる脳や脳動脈の状態チェックとAIを使用した認知機能検査を合わせたセットです。	35,200
	MCIスクリーニング検査プラス	軽度認知障害 (MCI) のリスクを調べることができる40歳以上の方にお勧めの血液検査です。認知症の予備軍とも言われ、そのまま放置すると5年で50%近くが認知症に進行するとされており、また急性炎症が認められる方、肝硬変の方、先天的脂質異常症の方、自己免疫性疾患をお持ちの方は判定結果に影響する可能性がございます。	24,200
	安静時心電図	手足・胸に電極を付け、心臓が発する電気刺激を波形として記録する検査です。心臓の病気を発見する手掛かりになります。	1,980
	NTP <sub>pro</sub> -BNP	心臓にかかる負荷の有無やその程度を測定する心機能のマーカーです。自覚症状のない初期の段階の心機能低下の早期発見につながります。	2,750
	LOX-index	脳梗塞や心筋梗塞の原因となる動脈硬化の原因物質を測定することにより、脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクがわかる最新の検査です。近親者でこれらの疾患の既往歴がある方、コレステロールや血糖値が高い方、喫煙されている40歳以上の方などにおすすめです。	13,200
肺	低線量肺がんCT	日本人のがん死亡者数の第1位である肺がんを発見することに特化したCT検査です。対象臓器を肺に限定することで、被ばく線量を従来の胸部CTの約1/5(当院従来比)に低減させることができます。	11,000
	喀痰検査	痰の中に病的な細胞が含まれていないかを顕微鏡で調べる検査です。主に扁平上皮がんの発見を目的として胸部レントゲン写真や低線量肺がんCTと併せて行います。	3,300
	Pro-GRP	肺がん(特に小細胞がん)に有用な腫瘍マーカーです。	2,750
	シフラ	肺がん(特に扁平上皮がん)に有用な腫瘍マーカーです。	2,750
胃	胃透視(バリウム検査)	バリウムを飲んでX線で食道・胃・十二指腸の上部消化管の撮影を行います。胃全体の形を捉えやすいため、スキルス胃がんの特徴である胃の伸展不良(壁が硬くふくらみが悪い)の診断に有用です。	11,550
	35歳未満限定胃透視 (バリウム検査)	35歳未満限定料金。一般的な胃がんはピロリ菌の感染や喫煙などがリスクとされ50代以上の男性に多いのに対して、スキルス胃がんは20代や30代の若年層(特に女性)にも発生することがあります。	7,700
	胃カメラ(胃内視鏡検査)	内視鏡を使用して、食道・胃・十二指腸を直接観察し、がん、潰瘍・ポリープ・炎症などの発見に有用です。カメラを口から挿入する方法と鼻から挿入する方法があります。	17,050
	胃カメラ鎮静剤	胃カメラ時(口から挿入する場合)に使用します。意識がぼんやりとした状態となり苦痛を軽減できますが、使用後は一定時間お休み頂きます。検査当日は車等の運転は出来ません。※鎮静効果には個人差があります。	3,300
	ヘリコバクターピロリIgG	胃がんや胃潰瘍の原因と言われる「ピロリ菌」に感染していないかを調べます。	2,750
	ABC検査 (胃がんリスク健診)	ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度を測定し、胃がんのリスクを総合的に判定します。明らかな消化器症状のある方や治療中の方、ピロリ菌の除菌後の方は正しい結果が得られませんので、ご注意ください。	6,600
大腸	大腸カメラ(大腸内視鏡検査)	肛門から内視鏡を入れて直腸から盲腸までの大腸全体を直接観察します。大腸がんは男女ともに死因の上位です。40歳以上の方は一度検査をすることをお勧めします。	27,500
	便潜血	便中の血液混入の有無を判断する検査です。大腸がんを発見する手がかりとなります。	1,650
	Flora Scan	日本人特有の腸内フローラ(腸内細菌の種類や量)のタイプを5つに分類し、生活習慣病、および腸疾患等との関連性を調べる検査です。	16,500
	Cologic	血清中のGTA-446(脂肪酸の一種)の濃度を調べることで大腸がんのリスクを調べることができる血液検査です。脂肪酸の一種であるGTA-446は大腸がん患者で特異的に減少することが明らかにされており、高リスク群では低リスク群に比べ約300倍のリスクを有していることが分かっています。	13,200
	CEA	大腸がん発見の手がかりとなる検査です。便潜血とセットでの受診をおすすめします。	2,750
肝臓・胆のう・膵臓	腹部エコー	超音波を発する器具(プローブ)を腹部にあてて、上腹部臓器(肝臓・胆のう・すい臓・膵臓・腎臓・ひ臓・腹部大動脈)を観察し、腫瘍や結石の有無などを調べる検査です。	7,150
	腹部CT	放射線を用いて、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・ひ臓などの上腹部臓器のほか、大動脈や骨盤内についての異常の有無を調べる検査です。	14,850
	AFP	肝臓がん発見の手がかりとなる検査です。肝臓がん(肝臓がん)を罹患した場合は血液中にAFPがみられるため、腫瘍マーカーとして用いられている検査です。	2,750
	PIVKA-II	肝臓がん発見の手がかりとなる検査です。肝細胞がんの有無の可能性を知るために行われる検査です。	2,750
	肝臓腫瘍マーカーセット (『AFP』 + 『PIVKA-II』)	肝臓がん発見の手がかりとなる検査です。	4,950
	CA19-9	膵臓がん発見の手がかりとなる検査です。胃がんや大腸がんなど、消化器系のがんにも反応を示します。	2,750
	HBs抗原(B型肝炎ウイルス検査)	B型肝炎ウイルス感染の有無を調べる検査です。	1,100
	HBs抗体(B型肝炎ウイルス検査)	HBs抗原に対する抗体の有無を調べる検査です。陽性であれば過去に感染し、その後、治癒したことを示唆します。HBVワクチンを接種した場合にも陽性となります。	1,100
HCV抗体(C型肝炎ウイルス検査)	C型肝炎ウイルス感染の有無を調べる検査です。HCV抗体陽性の場合、C型肝炎ウイルスへの感染の既往を意味します。早期に検査をすること肝硬変や肝臓がんなどへの進展を防ぎます。	1,870	

2024年度 オプション検査料金表

オプション名		検査の説明	料金(税込)
保健師おススメ	HbA1c(ヘモグロビンA1C)	食事や運動などの影響を受けにくく、過去1~2か月の平均的な血糖の状態を調べる検査です。血糖値のコントロール状態を知ることができます。	550
	眼底カメラ	カメラを用いて眼底にある血管や神経組織を観察します。緑内障、網膜色素変性症、黄斑変性症、網膜剥離、眼底出血などの眼の病気の他、高血圧や糖尿病などの全身性の病気の発見にも有効です。	2,200
	内臓脂肪CT	内臓脂肪が多いほどメタボリック・シンドロームの発症の可能性が高まります。CTを用いて腹部の内臓脂肪と皮下脂肪の量を測定することで、腹囲は正常でも内臓脂肪の多い「隠れ肥満」の発見に有効です。	4,180
	Inbody測定(体組成測定)	体成分分析装置です。体脂肪率だけでなく、体を構成する基本成分である体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪を定量的に分析します。生活習慣を見直すきっかけになります。	550
甲状腺	甲状腺エコー	甲状腺に超音波をあてて甲状腺の大きさやしこりの有無など内部の状態を調べる検査です。血液検査とあわせて受けることをおすすめします。	3,630
	TSH・FT3・FT4	甲状腺刺激ホルモンと2種類の甲状腺ホルモンの量を調べることで、女性に多い甲状腺機能異常(バセドウ病、橋本病など)の早期発見につながります。	4,180
前立腺	高感度PSA	前立腺がんに特異性の高い検査です。自覚症状のない段階での早期発見にも役立ちます。40歳以上の男性におすすめします。	2,750
リウマチ	抗CCP抗体	女性に多い病気と言われる関節リウマチの発症予測に有用な検査です。抗CCP抗体はこれまでのリウマチ因子検査よりはるかに鋭敏であり、正確にリウマチの発症を予測できる最も重要な血液検査です。	2,200
乳腺	マンモグラフィ(1方向)	乳房を挟んでX線撮影をする検査です。小さなしこりや石灰化を調べ、近年増加している乳がんの早期発見に有効です。乳腺が豊富な方(乳腺高濃度)は、乳腺超音波との併用をおすすめします。1方向と2方向では撮影枚数が異なります。乳腺密度の高い方(30~40代)は2方向をおすすめします。	3,300
	マンモグラフィ(2方向)		4,400
	乳腺エコー	乳房に超音波をあて、しこりや乳管の変化の有無を調べる検査です。乳腺が発達している若い方(乳腺高濃度)や妊娠中・授乳中の方にもおすすめです。	4,400
婦人科(子宮・卵巣)	子宮頸部細胞診	ブラシを用いて子宮頸部より細胞を採取し子宮頸がんに至る病変細胞の有無を顕微鏡で調べる検査です。子宮頸がんは、子宮の入り口付近に発生することが多いので、直接細胞を採取することでがん及び前がん状態を見つけることができます。	5,500
	HPV検査	子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染の有無を調べる検査です。子宮頸がん検査(細胞診)時に一緒に検査することが可能で、同時に検査することで子宮がん検診の精度を高めることができます。	5,500
	経膈エコー	膈の中に細長いエコーの機械(プローブ)を挿入し、子宮や卵巣の状態を観察する検査です。子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣腫瘍などの発見につながります。	4,180
	エクオール検査	エクオールとは女性ホルモンと似た働きをする成分です。腸内で、大豆イソフラボンから「エクオール」が作られているかを尿検査で調べます。更年期の症状が気になるゆらぎ世代の方々におすすめです。	3,850
	ホルモンチェック	女性ホルモンの乱れや自律神経の乱れは閉経前後の心身にさまざまな不調をもたらします。不調の原因が女性ホルモンの減少によるものかどうかの参考のために血中の女性ホルモンの値を調べる検査です。特にゆらぎ世代の方はご自身が閉経に向けたどのあたりの状態にいるのかの参考になります。	4,400
	CA125	卵巣がん発見の手がかりとなる検査です。	2,750
	AMH(抗ミュラー管ホルモン)検査	現在の「卵子」の数の目安、つまり卵巣予備能(卵巣年齢)を知ることができ、今後の妊活を含めライフプラン形成に役立てておくことができます。血液検査のため月経周期を気にせずに検査を受けられます。今後妊娠を希望される方におすすめします。	6,600
	骨密度	放射線を用いて骨の密度を測定する検査です。女性ホルモンの減少と深くかわるため、40歳以上の女性、特に閉経後の方におすすめします。	3,300
婦人科ナースおススメ3点セット (『子宮頸部細胞診』+『HPV』+『経膈エコー』)	子宮・卵巣の健康状態がわかるベーシックでお得なセットです。1度内診台に上がり10分程度で全ての検査が受けられます。	13,200	
風疹抗体検査	風疹に対する免疫があるかどうかを調べる検査です。	4,950	
麻疹抗体検査	麻疹に対する免疫があるかどうかを調べる検査です。	4,950	
血液型(ABO・Rh)	緊急で輸血が必要となる場合に役立ちます。	660	
View39(アレルギー検査)	アレルギー症状は、自覚症状がある方はもちろん、現在症状がなくても、ご自身がどのようなアレルゲン物質に対してアレルギーを引き起こす可能性があるか知っておくことが大切です。View39では少量の採血で一度に39種類(卵、牛乳、小麦、豆類、甲殻類、果物、魚、肉、動物、昆虫、樹木、草、カビ、塵など)のアレルギー検査が可能です。	14,800	
SCC抗原	扁平上皮がん(食道がん、子宮頸がん、皮膚がん、肺がん、咽頭がん)などを調べます。	2,750	
男性向け腫瘍マーカー4種セット (『AFP』+『CA19-9』+『CEA』+『PSA』)	男性向けのお得な腫瘍マーカー4種セットです。	8,800	
女性向け腫瘍マーカー4種セット (『AFP』+『CA19-9』+『CEA』+『CA125』)	女性向けのお得な腫瘍マーカー4種セットです。	8,800	
男性向け腫瘍マーカー6種セット (『AFP』+『CA19-9』+『CEA』+『PSA』+『シフラ』+『Pro-GRP』)	男性向けのお得な腫瘍マーカー6種セットです。	12,100	
女性向け腫瘍マーカー6種セット (『AFP』+『CA19-9』+『CEA』+『CA125』+『シフラ』+『Pro-GRP』)	女性向けのお得な腫瘍マーカー6種セットです。	12,100	

※1 こちらの検査は脳ドックとコースにMRIが入っている方及びオプションで頭部MRI・MRAまたは脳検査セットを追加している方のみ受診可能です。